

卓話

平成 27 年 8 月 25 日

『 ブラジリアン・ローズウッドについて 』

三宅裕樹 会員

■ブラジリアン・ローズウッドとは

ブラジリアン・ローズウッド (学名: *Dalbergia nigra*、別名: ハカラランダ、ジャカラランダ) はツルサイカチ属の植物。ローズウッドの 1 つ。これらの木材は北米を中心とした国々で家具や楽器などで重宝される。1992 年にはワシントン条約 (CITES) の附属書 I に掲載され、大規模な輸出規制が行われた。ワシントン条約のレッドリスト I には登録されているので、それらの原木や材料とした製品を輸出入するには経済産業省など各国の政府機関に許可申請が必要である。(ウィキペディアより引用)



■木目の美しさ、トーンウッド (音響特性の良い楽器用木材) としての価値

ブラジリアン・ローズウッドは、その木目の美しさから「つき板」(装飾用に、普通の木材の上に貼り付ける銘木の薄板)として使われることが多い。しかし、ヨーロッパのビンテージ家具などでは、無垢のブラジリアン・ローズウッドで製作された椅子なども多い。今後新たに生産される事は無いので、現在所有されている場合は大切にしてください。

また、楽器材としては、ギターの指板やアコースティックギターの側板・裏板として利用された。艶と張りのある音色が特徴で、現在では非常に高価で入手困難になっています。

■木材資源の現状と特徴

世界 3 大銘木と呼ばれる

- ① **マホガニー** (現在はホンジュラスマホガニーを指す事が多いが、本来は「赤い宝石」と言われた「キューバンマホガニー」が本物です。しかし、現在では、ホンジュラスマホガニーすら入手困難で価格が高騰しています。
- ② **チーク** ミャンマーで産出される。「油木」と呼ばれ船舶用木材として重用される。家具材としても美しく耐久性がある。資源量は減少傾向
- ③ **ウォールナット** 北米で産出される。未だ資源量は(比較的)豊富。

優良な木材資源は現在枯渇しつつあります。勿論、各国では資源の再生に向けて努力が進んでいますが、いかんせん木材資源の再生には、数百年(最低でも 200 年) 必要です。現在流通している銘木は、かなり以前に伐採されたものが流通しているだけで早晚無くなります。価値ある木材は今後入手が困難になり、価格も高くなります。

■本日持参した資料

- ①ブラジリアン・ローズウッド指板材 某ギター工房より譲っていただきました。(写真①)
- ②PRS (ポールリードスミス プライベートストック 2002 年製 No.368) ブラジリアン・ローズウッド・ネック仕様。この仕様の生産数は非常に少ない。(写真②)

